

平成 20 年 度

小学校教員資格認定試験

教職に関する科目 (Ⅱ)

生 活

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 20 年度「小学校・幼稚園教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、すべて解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 50 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を持ち帰っても構いません。 (悪い例) ⊙ ⊗ ⊕ ⊖

* 以下の問いでは、『小学校学習指導要領』とは、『小学校学習指導要領』(平成10年文部省告示第175号、平成15年文部科学省告示第173号・一部改正)第2章第5節「生活」を指すものとする。

問1 生活科を新設した根拠・趣旨として、不適切なものを、次のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 幼児教育から小学校教育への移行を円滑にする。
- イ 低学年の児童の発達状況に即した学習指導を行う。
- ウ 児童の具体的な活動や体験を通じて総合的に指導する。
- エ 低学年では生活や学習の基礎的な能力や態度を育成する。
- オ 低学年で独立の教科であった社会科と理科を廃止する。

問2 次の文は、『幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校及び養護学校の教育課程の基準の改善について(答申)教育課程審議会』(平成10年7月29日)に示された生活科の改善の基本方針に関する記述である。この文中の下線部アからオの語句の中から、不適切なものを一つ選んで、記号で答えなさい。

「児童がア身近な人や社会、自然とイ直接かかわる活動や体験を一層重視し、こうした活動や体験の中で生まれるウ楽しさや気付きを大切にする指導が行われるようにするとともに、各学校において、エ地域の環境や児童の実態に応じて創意工夫を生かした教育活動や、オ重点的・弾力的な指導が一層活発に展開できるよう内容の改善を図る。」

問3 次のアからオの文は、『幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校及び養護学校の教育課程の基準の改善について(答申)教育課程審議会』(平成10年7月29日)に示された生活科の改善の具体的事項に関する記述である。これらの文のうち、弾力的な指導ができるようにするために提案されたこととして、最も適当なものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 各学年に分けた内容を、2学年まとめた内容で構成する。
- イ 地域にある自然や施設を広く選択できるようにする。
- ウ 児童が多様な人々と触れ合うことができるようにする。
- エ 児童が自分の思いや願いを生かして活動できるようにする。
- オ 総合的な学習の時間や他教科等との関連を図った指導を行う。

問 4 次の文は、『小学校学習指導要領』に示された生活科の目標に関する記述である。この文中の空欄 に当てはまる記述として、最も適当なものを、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、 」

- ア 自ら意欲をもって学習する態度を育てる。
- イ 自立への基礎を養う。
- ウ 生活や学習の基礎的な能力や態度を育成する。
- エ 自然認識や社会認識の基礎を培う。
- オ 読み、書き、計算の基礎を修得させる。

問 5 次の文は、『小学校学習指導要領』に示された生活科の第1・2学年の目標に関する記述である。この文中の下線部の説明として、最も適当なものを、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

「身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどを言葉、絵、動作、劇化などにより表現できるようにする。」

- ア 活動や直接体験の中で子どもが楽しかったこと
- イ 活動や直接体験の中で教師が楽しかったこと
- ウ 活動や直接体験の楽しさについて子どもが表現したこと
- エ 身近な人々や社会、自然について教師が気付いたこと
- オ 身近な人々や社会、自然について子どもが気付いたこと

問 6 『小学校学習指導要領』では、生活科の内容は、2 学年をまとめた項目として示されている。その生活科の内容のまとまりに相当するものとして、不適切なものを、次のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 自分の成長
- イ 公共物や自然物の利用
- ウ 学校と生活
- エ 季節の変化と生活
- オ 地域と生活

問 7 生活科の指導計画の作成に当たって、国語や音楽、図画工作などの教科との関連を図ることを意図したものとして、最も適当なものを、次のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 自分自身のこれからの成長に関すること
- イ 自分と身近な人々とのかかわりに関すること
- ウ 言葉、絵、動作、劇化などの表現方法に関すること
- エ 自分と地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関すること
- オ 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関すること

問 8 次のアからオの文は、生活科における評価に関する記述である。これらの文のうち、不適切なものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 生活科の評価は、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の4つの観点から行う。
- イ 関心・意欲・態度については、どれほどの関心を示し、どれほど意欲的に取り組み、どのような態度を身に付けたかを評価する。
- ウ 生活科の目標に準拠して設定された観点別に、低学年児童の学習状況を評価することが基本である。
- エ 表現については、活動や体験の楽しさ、考えたり工夫したり気付いたりしたことについて、どのように表現しているかを評価する。
- オ 生活科の目標に準拠した評価では、集団内の相対的な位置ではなく、目標に向けての到達状況を中心に評価する。

問9 次の文は、『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について(答申)中央教育審議会』(平成20年1月18日)に示された生活科の改善の基本方針に関する記述である。これらの文中の下線部アからオの語句の中から、不適切なものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- 気付きの質を高め、活動や体験を一層充実するための学習活動を重視する。
- ア科学的な見方・考え方の基礎を養う観点から、イ自然の不思議さや面白さを実感する学習活動を取り入れる。
- 児童を取り巻く環境の変化を考慮し、ウ安全教育を充実することや自然の素晴らしさ、生命の尊さを実感する学習活動を充実する。
- 小学校におけるエ道徳教育への円滑な接続のための指導を一層充実するとともに、幼児教育との連携を図り、オ異年齢での教育活動を一層推進する。

問10 次のアからオの文は、『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について(答申)中央教育審議会』(平成20年1月18日)に示された生活科の改善の具体的事項に関する記述である。これらの文のうち、体験による気付きを質的に高める活動として、最も適当なものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 通学路の様子を調べ、安全を守ってくれる人々に関心をもつ活動
- イ 動くおもちゃを作る、ものを水に溶かす、風を使うなどの遊ぶ活動
- ウ 自然に直接触れる体験や、動物と植物を自分たちで継続的に育てる活動
- エ 見付ける、比べる、たとえる活動や、言葉や絵で表現する活動
- オ 小学校低学年の児童が幼稚園の幼児と一緒に交流する活動

問11 次のアからオの文は、気付きを言葉で表現できない子どもへの支援・指導の手立てに関する記述である。これらの文のうち、最も適当なものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 活動での気付きを想起させて、次に何がしたいのかを、その子に聞く。
- イ 他の子に自分の気付きを言葉で表現させて、その子にどれかを選ばせる。
- ウ その子がした活動を一緒に確かめ、そこで気付いたことを、その子に聞く。
- エ 活動している最中に、その子がつぶやいていた気付きを、その子に話す。
- オ 気付きを無理に言葉で表現させずに、その子なりの表現の方法を認める。

問12 次のアからオの文は、身近にある物を使った遊びでの、子どもの気付きに関する記述である。これらの文のうち、誤っているものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 湯よりも水に石けんは速く溶けることから、水の温度によって石けんの溶け方に違いがあることに気付く。
- イ 磁石は鉄を引きつけるが紙や木などを引きつけないことから、物の材質によって磁石につく物とつかない物があることに気付く。
- ウ 濃い石けん水の方がシャボン玉はよくできることから、石けん水の濃さによってシャボン玉のでき方に違いがあることに気付く。
- エ こまの中心近くに棒を通すほどよく回ることから、心棒の付け方によってこまの回り方に違いがあることに気付く。
- オ 風が強いときの方が落下さんは風に流されやすいことから、風の強さによって落下さんの飛び方に違いがあることに気付く。

問13 次のアからオの文は、『動物の愛護及び管理に関する法律』(平成18年6月2日法律第50号)の目的・基本原則に関する記述である。これらの文のうち、不適切なものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 動物の権利を守り、動物を愛護する。
- イ 命を大切にすると心豊かな社会を築く。
- ウ 動物をただかわいがるだけでなく正しく飼う。
- エ 動物による人への危害や周辺への迷惑を防止する。
- オ 人と動物が共に生きていけるように適正に管理する。

問14 地域の様々な場所や公共施設などで、情報コミュニケーション技術が活用されている。その情報コミュニケーション技術の便利で安全な利用の仕方として、不適切なものを、次のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 公共図書館や公民館での図書の貸出・返却業務
- イ 学校や自治体、企業が管理する個人情報の提供
- ウ 交通管制センターによる道路交通情報の提供
- エ 地域の病院と患者の自宅をつなぐ在宅診療業務
- オ 気象庁による地震や津波などの災害情報の提供

問15 日本各地に、身近な自然景観が観光名所となっている国立公園がある。観光名所とその自然景観を形成した自然の作用の組合せとして、最も適当なものを、次のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

	観 光 名 所	自 然 の 作 用
ア	^{しれとこ} 知床国立公園・知床岬	氷河作用
イ	陸中海岸国立公園	河川による砂の堆積
ウ	富士箱根伊豆国立公園	火山活動
エ	山陰海岸国立公園・鳥取砂丘	土地の沈降と海水の侵入
オ	^{あそ} 阿蘇くじゅう国立公園	土地の隆起と河川の侵食

問16 次のアからオの文は、季節に応じた身近な自然の様子や人々とのかかわりに関する記述である。これらの文のうち、正しいものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 春から夏にかけて、モンシロチョウがキャベツやダイコンに集まり、ムクドリがアオムシを食べる。農家にとって、チョウは益虫、鳥は天敵である。
- イ コマツナは春、トマトは秋に、本来、収穫される野菜である。品種や栽培方法の改良等により、今では、これらの野菜をいつでも食べることができる。
- ウ 秋に球根を植えるチューリップやヒヤシンスは、数日で発芽する。最初に出た葉は、花が咲く前に枯れてしまい、春のチューリップ祭の頃までは残らない。
- エ イチョウは秋に黄葉し、葉を落とすが、マツは一年中緑葉をつけ、秋に種を落とす。冬になると、マツを正月飾りに利用する地方もある。
- オ 寒くなると、ゲンジボタルやそれより大きいヘイケボタルが、水辺で夜に発光しながら飛び回る。都会では、ボタルを野外で直接見ることはほとんどない。

問17 次のアからオの植物の組合せの中から、名前の由来が、人々による生活での利用とかかわりがある植物の組合せとして、最も適当なものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア アサガオ・ツキミソウ
- イ シュンラン・ヒガンバナ
- ウ オジギソウ・ネムノキ
- エ イチリンソウ・ミツバ
- オ アブラナ・ドクダミ

問18 次のアからオの身近な花の組合せの中から、①春に咲く花の組合せ、②5枚の花びらをつける花を一つ以上含む組合せ、③祝い事に用いる花の組合せ、の三つの条件を満たすものとして、最も適当なもの一つを選んで、記号で答えなさい。

- ア パンジー・スイセン
- イ レンゲソウ・シロツメクサ
- ウ サクラ・モモ
- エ タンポポ・ヒマワリ
- オ キンモクセイ・バラ

問19 次の文は、人や身近な生き物の生活に関する記述である。この文中の空欄 から に当てはまる語句の組合せとして、最も適当なものを、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

私たち人間は、養分を得るために、植物や他の動物を食べる雑食性である。身近な昆虫では、コオロギやキリギリス、ダンゴムシなどが雑食性で、カマキリやナナホシテントウ、クモ、アメンボなどは である。

また、動物と植物では、体内で養分をつくる方法に違いがある。ヒトをはじめ、イヌやウサギ、スズメやニワトリ、ヘビやトカゲ、カエル、メダカやキンギョなど、 動物の体内では、口から取り入れた食物が、消化によって水に溶けやすい養分に変えられ、それが吸収されて、血管を通過して体中に運ばれる。

一方、アブラナやシロツメクサ、ツツジ、ユリ、ウメ、エンドウなど、胚珠が 植物をはじめ、植物の体内では、葉緑体の中で光合成によってつくられた養分が、根から吸収された水に溶けて、茎の中の管を通過して体中に運ばれる。

その養分を使って、人や身近な生き物は、成長したり生命を維持したりしているのである。

	A	B	C
ア	肉食性	背骨をもつ	子房に包まれていない
イ	草食性	背骨をもたない	子房に包まれていない
ウ	草食性	背骨をもつ	子房に包まっている
エ	肉食性	背骨をもつ	子房に包まっている
オ	肉食性	背骨をもたない	子房に包まっている

問20 次のAからFの記述は、水(H₂O)の状態変化に関する身近な現象である。水の状態が気体から液体に変化する現象の組合せとして、最も適当なものを、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- A 寒い日の朝、湖面近くに霧が発生する。
- B 曇った鏡にドライヤーの温風を当てると、曇りが消える。
- C 高い山頂では水が100℃よりも低い温度で沸騰する。
- D 氷の結晶(雪)が空中を落ちてくる途中でとけて雨になる。
- E 冷えた缶ジュースを放置しておくと、缶の外側に水滴がつく。
- F 部屋の中に置いたドライアイスに霜がつく。

ア A・B イ A・E ウ B・C エ D・E オ D・F